

# 小売・流通業界における 事前対策の取組事例

平成30年12月26日

商務サービスグループ

中小企業庁

# 小売・流通業界における垂直連携事例

- 大手小売では取引関係にある中小企業等に対し①発災時の取引先との情報共有体制の構築②災害時発生時における「災害対策マニュアル」の配布などを実施している例が存在
- 同業種の互助組織的特徴をもつボランタリーチェーンでは、取引先の中小企業（※資本関係はない）を含むスーパーマーケットに対し「災害対策マニュアル」を加盟店に配布し、事前の防災・減災の取組を進め、発災後の初動の迅速化を促進している例がある。

## セブンイレブン

・セブンVIEWは、2015年から開発を進めている災害対策システムで、台風、地震、大雪、大雨などの自然災害時の被害を最小に押さえるために、**リアルタイムで全国の各店舗の状況や配送トラックの状況を把握できるシステム。**

- ・また、営業を継続することが重要であると考えており、加盟店に対し支援を実施。
- ・加盟店舗に対し「**災害マニュアル**」を配布。
- ・「日常の備え」「地震発生時の対応」「台風・水害時の対応」など7章のパートで構成されており、多岐にわたる対策を掲載。



# 商店街における防災・減災事例

- 商店街支援センターにおいて、防災・減災の取組の研修を実施。
- 各商店街においても自治体との連携を進め、商店街が一体となって取組をする事例が存在。

## 商店街支援センター

・商店街支援センターより各商店街の小売店舗に対し、**防災・減災の取組について研修**を行う。

・店舗内の整理・動線の確保によって、**外観が改善し売上・客数の増加**

・日ごろからの防災・減災の取組を意識することで、**災害に対する心構えができたとの声が多数。**



フラワープラネット  
「浸水被害を  
前向きに捉えた」意識の変化

「一番大きかったのは心構えの変化です」  
そう研修の成果を語るのは、生花販売を営む「フラワープラネット」の福島さん親子。「やれない理由を探さない」「成功するまでやり続けよう」といった講師の言葉を胸に繁盛店づくりに邁進した。そんなマイノリティの変化が、水害時にもいきた。「居内全て水浸しになり、以前だったら気力を失っていたかも

## 各商店街

・非常時にも営業をして地域に貢献できるよう、**日頃より危機管理について勉強会**を開く。

・防災ハンドブックで必要な物資を買える店舗を紹介することで、**販路拡大を実現**。

・**自治体と協定を結び**、人や物資、場所等を提供し、早期の開店ができるよう連携を深める。

・商店街店舗の**消火器等を発災時は店舗の前に設置**することを奨励することで、被害を最小限に止める。

・相次ぐ火災を教訓に、自治体と協議を重ね、耐火建築物等に建て替えることを条件に、建築基準法の許可基準を一部緩和するなど**制度上も防災・減災の取組を推し進める**。